



限界集落でのコミュニティ

～自分たちで出来ることは自分たちで～

当地域は、少子高齢化、人口減少等により共同体としての機能が急速に衰えてきた集落（限界集落）です。しかし、先人が残してくれた農地や農業施設、里山林、そして最も大事な地域コミュニティを守り続けていかななくてはなりません。

そのため、平成 19 年度から多面的機能支払交付金（旧農地・水保全管理支払交付金）に取り組んでいます。

交付金は貴重な財源であり、最大限に効果を上げる活動に活用することが重要です。

そのために、私達は「自分たちで出来ることは自分たちで」をモットーに地域住民が一体となった直営施工を行い、コミュニティを中心とした心豊かな「美しいふるさとづくり」を目指しています。

農地・農業用水等の適切な保全（直営施工）



水路の更新



農道のコンクリート舗装



ため池の堤体補強



排水路の泥上げ



猪鹿防護柵の補修

地元施工によりこれらの活動を実施

農村環境の保全向上・地域住民との交流活動



植栽



地域住民による道路法面や花壇を利用したノジグク・あじさい・ヒラドツツジの植栽

森林きこりの会による伐採



里山林の伐採



村祭り

地域住民との交流



とんど焼き

将来の夢・展望

現在、30 歳代の若者が担い手として営農に就くなど体制の強化に繋がっていますが、将来にわたり農地、里山等を安心して守れる状態にはほど遠い状況です。将来、農業の担い手の確保には限界があり、集落営農組織への移行が必須と考えています。そのため、近隣集落とも連携しながら「人・農地プラン」をふまえて移行について勉強していきたいと考えています。

また、農業者、非農業者、性別、年齢問わず「自分たちの出来ることは自分たちで」をモットーに地域住民が一体となってコミュニティの維持向上、美しいふるさとづくりに努め、地域を守り、地域住民が互いに支え合い福祉の向上を図るとともに、心豊かな「美しいふるさとづくり」を目指します。



休
治
み
ど
り
の
会
（
上
郡
町
休
治
）